

公的病院を中心とした再編・ネットワーク化の推進にあたっての経営分析等の実施について

6/2 県病院協会
特別講演資料を一部
改変

公的病院を中心とした再編・ネットワーク化の推進（新規事業）

公的病院を中心とした再編・ネットワーク化を推進するにあたり、**経営分析等**の視点も交えた検討が必要。

（１）現状の病院経営において直面する課題は何か？

（・財務状況分析 ・損益分岐点分析 ・必要患者数の把握 ・医療費用の妥当性 など・・・）

（２）将来（2025年）に向けた収益予測は？

（機能分化・連携を行わない場合に、どのような収益予測となるのか・・・）



【出典】『地域医療構想と公的病院のあり方』

県内公的医療機関と今後のあり方検討病院群

○ 機能分担、再編等検討病院群



今年度より、下記の事業を展開

◆ 県委託事業として、公的病院等の経営分析等を実施

① 地域医療介護総合確保基金を活用

② 平成30年度～32年度の3ヶ年事業

初年度（平成30年度）においては、3構想区域で先行して実施

◆ 地域医療連携推進法人などの連携を検討

（民間医療機関を含む）

地域医療構想を推進するにあたっての経営分析等に係る進め方（案）

平成30年度における取組

県事業として監査法人等に委託

① 3 構想区域を、平成30年度の重点圏域とする。

（地域バランスを考慮し、紀北・紀中・紀南エリアよりそれぞれ1 構想区域）

⇒ 平成30年度の重点圏域は、橋本医療圏・有田医療圏・新宮医療圏。

② 重点圏域においては、「経営分析等」に加えて、「再編・ネットワーク化案」を提示。

①-1 構想区域単位の地域分析

- 将来推計人口に基づく医療需要推計
- 各種疾病別の入院患者数推計
- 各病院における各種疾病の占有率（直近年度）
- 各種疾病における各病院の占有率（直近年度）

①-2 各病院の経営分析

- これまでの収支決算の状況（直近3 か年程度）
- これまでの経営指標の推移（直近3 か年程度）
- 経営指標の類似病院全国平均との対比
- 直近の収支決算に基づく損益分岐点分析

①-3 各病院の収支に係る将来推計

- 機能分化・連携を行わない場合の各病院の収支見込み

経営分析等

【重点圏域】 再編・ネットワーク化案の提示

左記の経営分析・将来推計を踏まえた上で、第三者的視点からの「再編・ネットワーク化案」を提示



地域医療連携推進法人などの連携を含めて、案を提示

平成30年度における取組（続き）



③ 経営分析等の対象となる病院について（重点圏域）

公的病院・公立病院

「地域医療構想と公的病院のあり方」（平成28年10月和歌山県策定）など、本県地域医療構想の策定及び推進経緯を踏まえて、全ての公的（公立）病院の経営分析を実施。

民間病院

県では、民間病院を含めた地域医療連携推進法人などの連携推進を想定しており、希望する民間病院の経営分析を実施。【手挙げ方式】

- ⇒ i) 重点3圏域に所在する各病院（精神単科の病院除く）に対して、県医務課より経営分析に係る希望の有無を照会、取りまとめ。
- ii) 上半期中目途で、県内各構想区域において地域医療構想調整会議を開催し、経営分析等の対象となる病院や、今後の検討の進め方（民間病院を含めた地域医療連携推進法人などの連携推進など）に関し、情報を共有。

④ 今後の主なスケジュール（予定）

- ～9月 …… 地域医療構想調整会議において情報共有
- 10月 …… 県委託事業として業務開始（契約開始）
- （随時） …… 関係病院ヒアリング等の実施
- 2月頃 …… 分析・推計結果の提示
- 2～3月 …… セミナーの開催（※経営分析や再編・ネットワーク化について医療関係者に理解を深めていただくため開催）



平成30年度における取組（続き）

- ⑤ 重点圏域以外の4構想区域（和歌山・那賀・御坊・田辺）においては、**希望する公的（公立）病院**を対象とした経営分析を実施。【手挙げ方式】

（※）ただし、県立医大（本院）・日赤医療センター・和歌山労災病院の3病院は、病院の規模等を勘案の上、本経営分析の対象外とする。

平成31～32年度における取組

- 4構想区域（和歌山・那賀・御坊・田辺）において、**公的（公立）病院に加えて、希望する民間病院の経営分析**を実施予定。

⇒ 平成31・32年度において順次、各医療圏において同様に、個別病院の経営分析及び、再編・ネットワーク化案の提示を予定。

平成30年度に先行して実施する経営分析等の成果をセミナー等で広く周知するなどの上、平成31年度以降の取組につなげていく予定としますので、ご理解・ご協力をよろしくお願いします。



4

各圏域における公的病院を中心とした再編・ネットワーク化の方向性(案)

【出典】『地域医療構想と公的病院のあり方』

（1）和歌山圏域

- ◆県立医大病院と日赤医療センターを中心とした基幹病院の診療連携
- ◆基幹病院間の医療機能集約と、診療材料の共同購入・高額医療機器の共同利用による経営合理化など

（2）那賀圏域

- ◆和歌山圏域又は橋本圏域との連携を検討
- ◆公立那賀病院を中心に、民間病院と機能分担・連携

（3）橋本圏域

- ◆南奈良総合医療センターへの患者流出動向を要分析
- ◆橋本市民病院を中心に、民間病院と機能分担・連携
- ◆紀北分院のあり方（圏域内検討及び大学病院として）

（4）有田圏域

- ◆有田市立病院と済生会有田病院の機能が重複する現状
- ◆両病院の建て替え機会を捉え、機能分担を整理

（5）御坊圏域

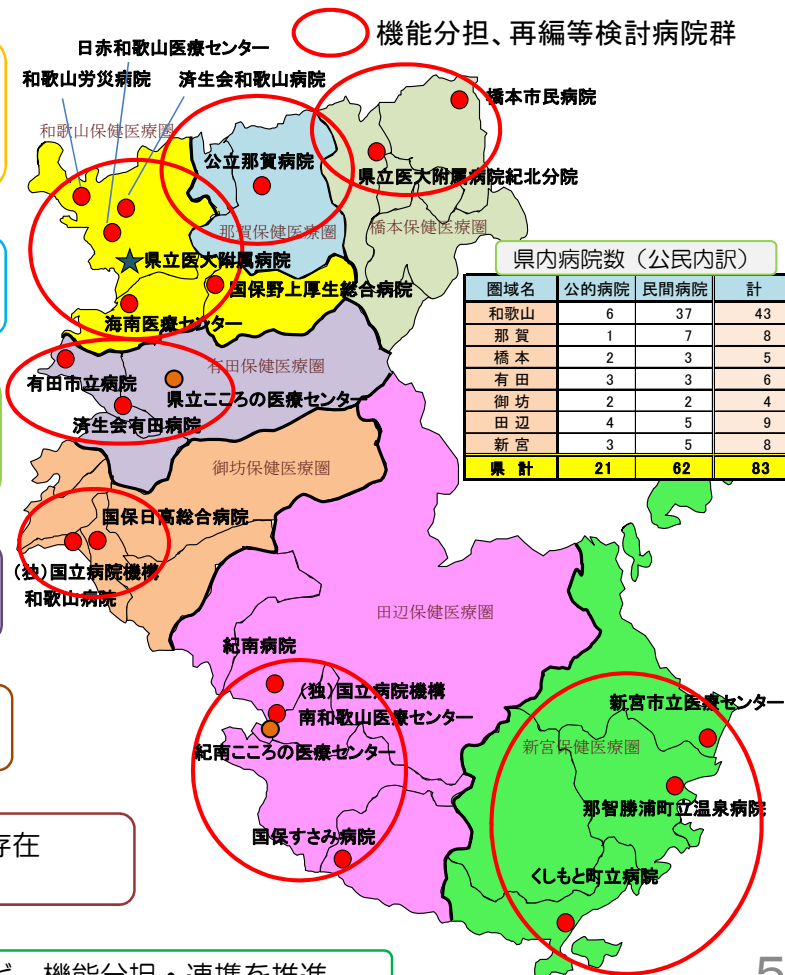
- ◆病院機能の分担が比較的なされている現状にあるが、国保日高総合病院と和歌山病院との間の連携を更に検討

（6）田辺圏域

- ◆紀南病院と南和歌山医療センターが中核基幹病院として存在
- ◆今後、周辺民間病院を含めた機能分担と連携体制を構築

（7）新宮圏域

- ◆新宮市立医療センターを核にサテライト病院化を図るなど、機能分担・連携を推進



5